

株式会社カインズの安全活動について

総務部 安全・災害対策室 室長
坂田 昌之

自己紹介



坂田 昌之 (48歳)
株式会社カインズ 総務部
安全・災害対策室 室長



【経歴】

- ・ 1999年入社 現在26年目
- ・ 店長を6店舗経験
- ・ エリアマネジャーを3エリア、5年間経験
(東静岡・山梨、千葉、九州中国兵庫)
- ・ 2020年7月 販売本部 店舗安全対策推進室
室長として、新設部署の立ち上げ
- ・ 2024年1月 総務部 安全・災害対策室 室長
として、新設部署の立ち上げ

【受賞歴】

- ・ 2022年度 SAFEアワード ウェルビーイング
部門 ゴールド賞受賞
- ・ 2023年度 SAFEアワード 安全な職場づくり
部門 シルバー賞受賞

埼玉県SAFE協議会構成員としての活動



【株式会社カインズ】

- ・ 埼玉県SAFE協議会構成員・厚生労働省SAFEコンソーシアムへ加盟



2022年に厚生労働省、タイムマシーン3号によるカインズ朝霞店の安全活動を視察



羽生田厚生労働副大臣、久知良埼玉労働局長が、カインズ朝霞店を視察。令和4年度SAFEアワード金賞受賞の好事例を産業界への水平展開を図る目的にて実施。（令和5年7月14日）

2023年に羽生田厚生労働副大臣と埼玉労働局長によるカインズ朝霞店を視察

企業概要

設立

1989年3月1日

事業内容

ホームセンターチェーンの経営

売上高

5,423億円（2024年2月末）

店舗数

240店舗（2024年9月時点）

本部所在地

埼玉県本庄市

カインズのご紹介

ビジョン「世界を、日常から変える」



A green graphic with white text. In the center, the words "くらしDIY" are written in a large, bold, white font. Surrounding this central text are several white hash tags with Japanese text. The hash tags are: "#おうちをジャングルに", "#家を24時間ジムにする", "#大掃除より小掃除", "#ペットと一緒に眠りたい", "#子どもとおうちキャンプしたい", "#自転車と暮らしたい", "#バルコニーで朝食を", "#家にサウナがほしい", "#家事をしながら痩せたい", and "#寝室だけは五つ星ホテル".

- 日本の、世界のくらしのそばに寄り添い続けることが私たちの目標
- くらしを豊かにする価値ある商品・サービスを開発し、お値打ちな価格で毎日提供
- Kindness（親切心）と創意工夫のアイデアあふれる店舗づくり

「くらしに、ららら。」をお届け



**2023年度 SAFEアワード 安全な職場づくり部門
シルバー賞 受賞**

「自律的な店舗安全推進活動」



安全な職場環境を自律的に創る 店舗安全推進活動



背景

・2022年3月より店舗メンバーによる「自律的な店舗安全推進活動」を開始

目指すべき姿

・店舗ごとの課題に対し、店舗メンバーが**自律的に**、より安全な店舗環境をつくり、安全意識の醸成をする

2023年度 SAFEアワードシルバー賞 受賞

活動内容

・隔月（奇数月）に「安全対策ワークショップ」を開催し、「ワークショップで決まった事」を掲示+毎月2万人以上が実施するKYTで端末から入力⇒ワークショップに不参加メンバーに対する周知が進化

【KYTとの連動】



あなたのお店の掲示板上に貼ってある、「7月度の安全対策ワークショップで決まったこと」に書いてある内容を入力してください。（掲示板上に貼ってない店舗は、店長に確認してください）

*
①〇〇〇〇〇、②〇〇〇〇〇・・・内容はある程度合っていれば大丈夫です。（回答内容は本部で確認し、あまりにも違う内容が入力されている場合は、店舗に連絡しますので掲示物を必ず確認してください。）

7月度の安全対策ワークショップで決まったこと

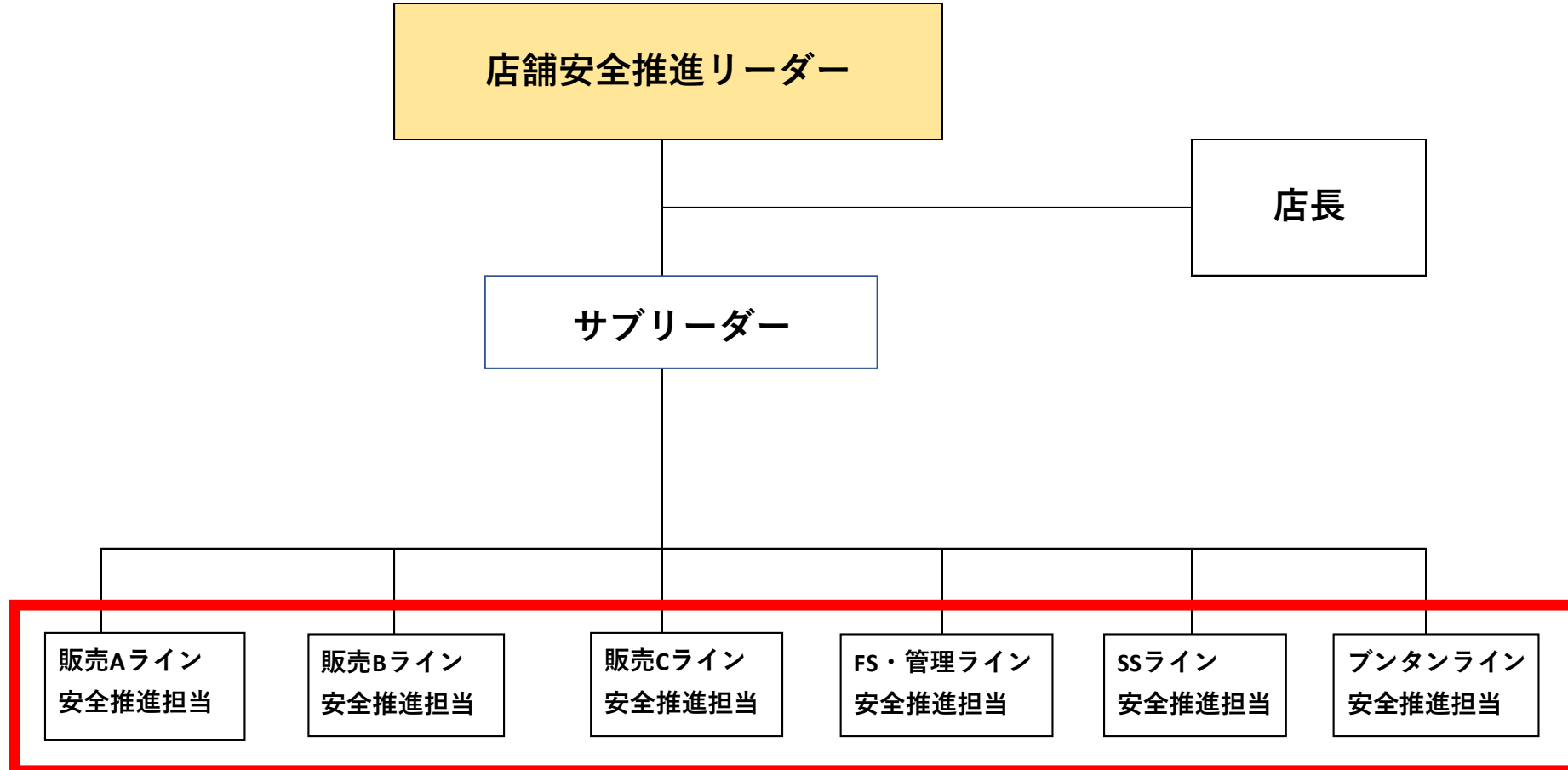
①通路の確保・台車を放置しない

なぜそれをやるの？（どんな問題点があった？）
⇒台車等が放置されていてメンバーやお客様が転倒しそうになる。
それをやるとどんな良い事があるの？
⇒通路幅が確保され安心して歩くことができる。
いつまでにやるの？いつから始めるの？
⇒7/18から全体朝礼でアナウンスして意識づけを行う

②産廃コンテナ周辺の通路確保

なぜそれをやるの？（どんな問題点があった？）

○ 店舗の組織図イメージ



店舗安全推進活動の運用イメージ

パートやアルバイトの声
が環境改善につながる

危険個所などの**“気づき”**を社員区分
関係なくワークショップで**発言/提案**

パートやアルバイト
も**意見しやすい環境**
を意識する

次回ワークショップで進捗管理を
しながら、「完了」まで確認する



ワークショップ参加メンバーで
忖度せずに、**喧々諤々**する

店長が
「やるべき事」を判断

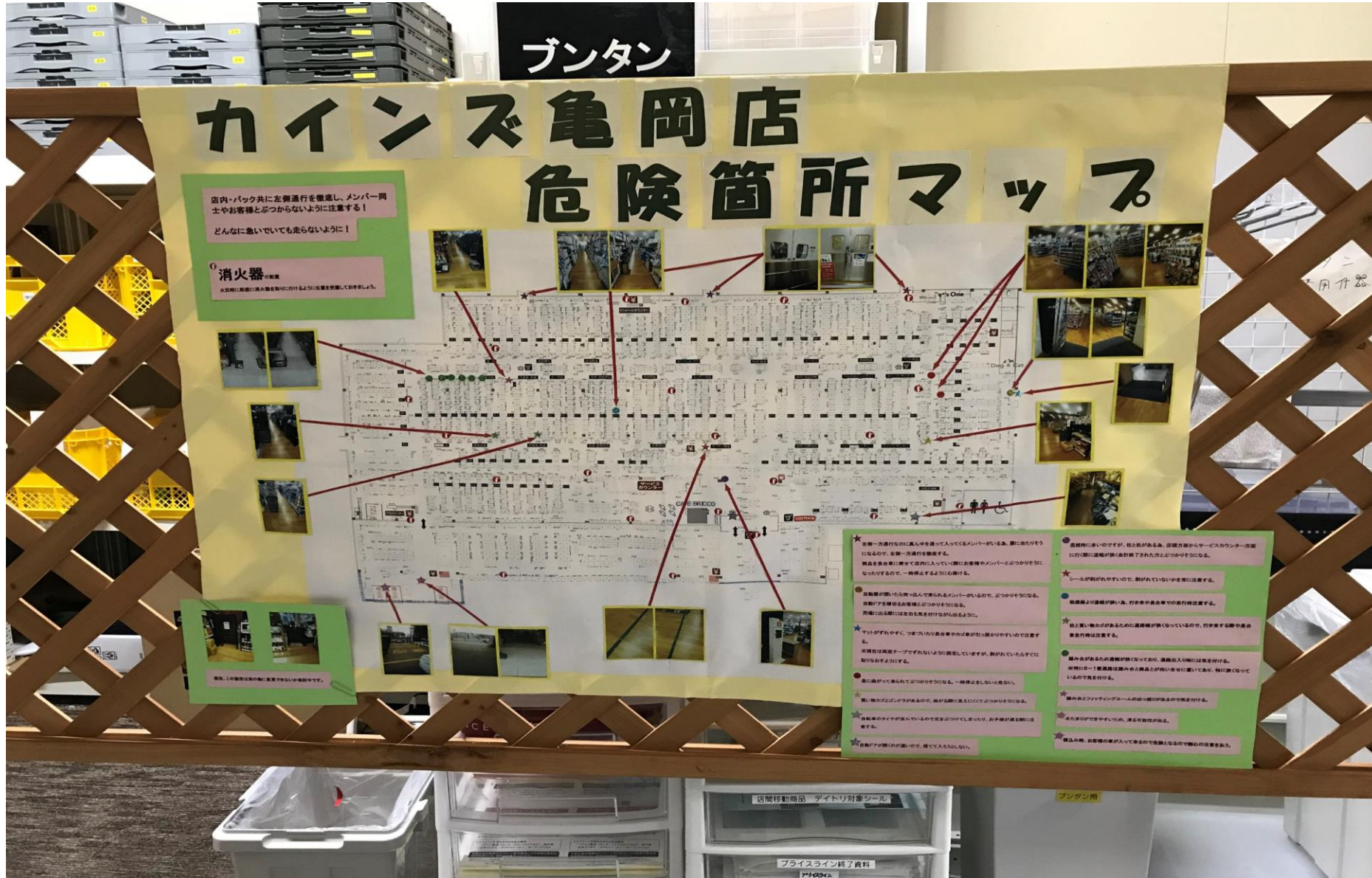
優先順位をつけながら、各店舗ごと
で「やるべき事」を決定する

メンバーの発言は
否定しない

店舗安全推進活動の実際の開催状況（埼玉県：浦和美園店）



店舗安全推進活動の好事例① (京都府：亀岡店)



店舗安全推進活動の好事例② (埼玉県：川島インター店)

第3回安全対策WS

テーマ「安全の重要性をメンバーが実感する為にはどうしたら良いか？」



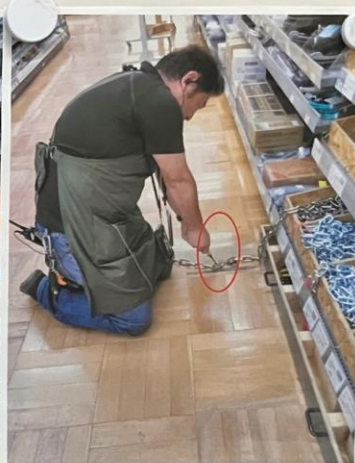
危険予測をしてみよう①



危険予測をしてみよう②



危険予測をしてみよう③



危険予測をしてみよう④

・カッターの刃が出すぎ
・お客様がいる居ない
・振り上げている 指を切る可能性有

・刃を出しすぎず振り上げない
・手をかき離れもらう
・カッターと指の距離

・切ったチェーンが飛ぶ
・女性だと力加なく切れない

・テンション確認
・離れよう
・インカムでフォローお願いお

・道具が合っていない

・正しく道具を使う

店舗安全推進活動の好事例③ (栃木県：大平店)

安全ミーティング改め

カインズ 大平店 **安全第一** No.2

はじめに 第一回ワークショップで決めた「フォークリフト監視員の社内資格を皆で取る」という目標ですが、皆様のご協力のおかげでほぼ達成できました。本当にありがとうございました。

そして、今回、皆様にご提出いただいた「大平店の危険箇所についてアンケート」で「段差解消など、予算をかけた取り組みは、お店に提出しました。」

その他の問題点解消のための話し合いも、次回ワークショップまでの目標を

『もっと声掛けをしよう!!』になりました。

例えば

- ① 「いらっしゃいませ」
通路でお客様とぶつかることを避けられます。
- ② 「通ります」
せまい場所を通り時など、事故防止になります。
- ③ 「危険ですよ」
お客様、特にお子様へ、事故防止になります。
- ④ 「フォードーお静いませ」
カート回収時、お静い場所から音が聞こえる所について店内を注意して自衛します。

などなど、もっと声掛けをすることで、店内の危険箇所を改善できそうです。

皆さんも、どんな声掛けしたら危険箇所を減らせるか考えながら、たくさん声掛けしてみてください!!

次回ワークショップで「大平店内の危険ポイント」について行います。

開催前にはお申し込みをありがとうございました。今回の声掛けをぜひ結果にお返さ下さい。今回は特に危険ポイントの中の「危険作業について」お話しをしたいと思いますのでお静いませ。

次アンケートで皆様のご意見を伺いたいと思います。

安全ミーティング改め

カインズ 大平店 **安全第一** No.2

はじめに 第一回ワークショップで決めた「フォークリフト監視員の社内資格を皆で取る」という目標ですが、皆様のご協力のおかげでほぼ達成できました。本当にありがとうございました。

そして、今回、皆様にご提出いただいた「大平店の危険箇所についてアンケート」で「段差解消など、予算をかけた取り組みは、お店に提出しました。」

その他の問題点解消のための話し合いも、次回ワークショップまでの目標を

『もっと声掛けをしよう!!』になりました。

例えば

- ① 「いらっしゃいませ」
通路でお客様とぶつかることを避けられます。
- ② 「通ります」
せまい場所を通り時など、事故防止になります。
- ③ 「危険ですよ」
お客様、特にお子様へ、事故防止になります。
- ④ 「フォードーお静いませ」
カート回収時、お静い場所から音が聞こえる所について店内を注意して自衛します。

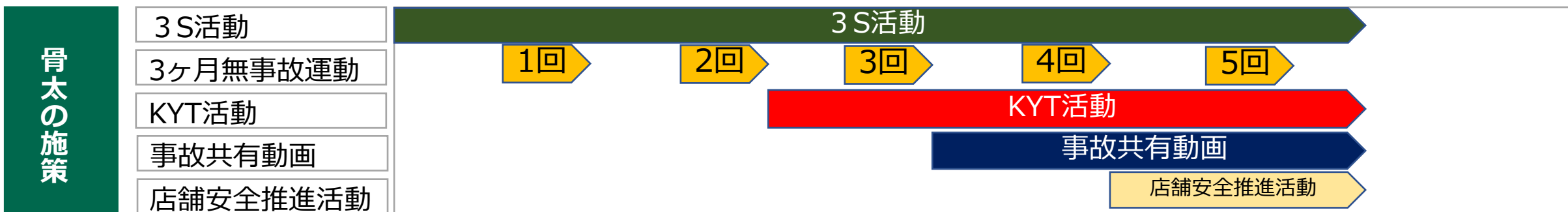
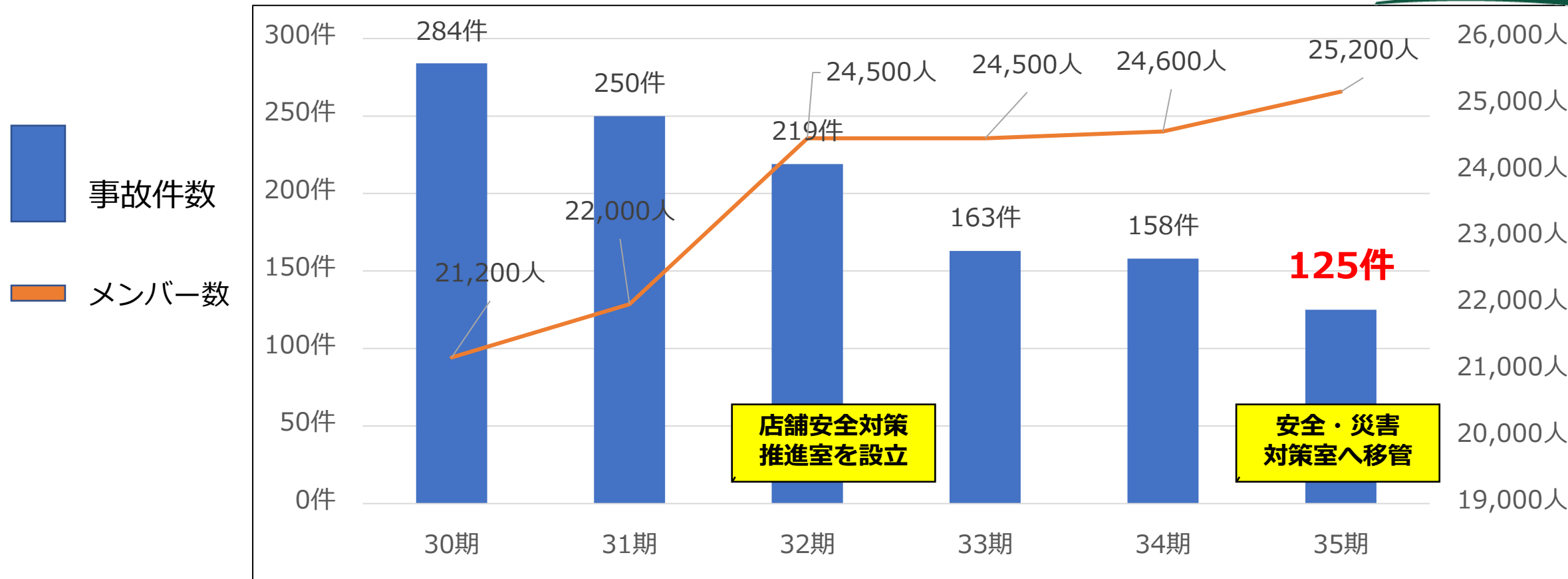
などなど、もっと声掛けをすることで、店内の危険箇所を改善できそうです。

皆さんも、どんな声掛けしたら危険箇所を減らせるか考えながら、たくさん声掛けしてみてください!!

次回ワークショップで「大平店内の危険ポイント」について行います。

開催前にはお申し込みをありがとうございました。今回の声掛けをぜひ結果にお返さ下さい。今回は特に危険ポイントの中の「危険作業について」お話しをしたいと思いますのでお静いませ。

次アンケートで皆様のご意見を伺いたいと思います。



ご清聴ありがとうございました！

appendix

安全・災害対策室（旧店舗安全対策推進室） の発足と役割

安全・災害対策室（旧店舗安全対策推進室）の発足の背景と役割

- ・カインズでは、2020年7月に販売本部 本部長の直下組織として、**販売本部内に安全に関する専門部署「店舗安全対策推進室」**を設立（※現在は、総務部 **安全・災害対策室**）

目指すべき姿

Kindnessの好循環を実現するために、**各店に安全推進リーダーを配置**し、店舗が**自律的にPDCAを実行**し、安全最優先な行動ができている、かつ**法令順守された店舗運営が維持**されている。

役割

①事故対策

- ・店舗の事故未然防止対策
- ・事故発生後の対策立案

②災害対策/災害対応

- ・店舗の災害対策マニュアルの作成/整備
- ・災害発生時の対応

③コンプライアンス対応

- ・店舗運営に関わるコンプライアンス対策/対応

④品質対応

- ・リコール発生時の店舗対応
マニュアルの作成
- ⇒**1/16付の組織改編で販売本部へ役割を移管**

⑤コロナ対応

- ・店舗のコロナ対応マニュアルの作成/整備
 - ・店舗のコロナ対応相談窓口
- ⇒**5類へ変更後、対応は終了**



**2022年度 SAFEアワード ウェルビーイング部門
ゴールド賞 受賞**

「スマホ型端末を使用したKYT活動」



事故を未然に予見する！KYT活動（危険予知トレーニング）



【背景・課題】

- ・店舗メンバー：約25,000人が在籍
- ・パート、アルバイトへの安全教育が行き届いていない
- ・店舗規模（従業員数）が30人～400人と格差が大きい

【目的】

- ・危険予知ができるメンバーを育成し、事故を予見することで未然に防止する

2022年度 SAFEアワードゴールド賞 受賞

【内容】

- ・デジタルツール「Forms」を利用し、システム開発費用はなし
- ・店舗用スマホ型端末を使用し、個々の労働者のスケジュールに合わせて危険予知トレーニングを実施できる
- ・前月の労働災害を題材にすることが可能であり、毎月繰り返し実施する事で継続的な教育ができる

12月度KYT(危険予知トレーニング)活動



【回答選択式】

- カゴ車の車輪で足を踏む
- カゴ車が転倒して下敷きになる
- カゴ車の底板が抜ける

※毎月、15～25問前後出題

【対象人数】

全店舗（25,200人）

【定量的効果】

- ・月間平均実施率：85%～88%
- ・月間平均実施人数：約20,000～21,000人

スマホ型携帯端末を使用した「KYT活動」

内容

- ・デジタルツール「Forms」を運用し、店舗用スマホ型端末を使用した危険予知トレーニングをアルバイトまで含めた全メンバーが毎月実施する

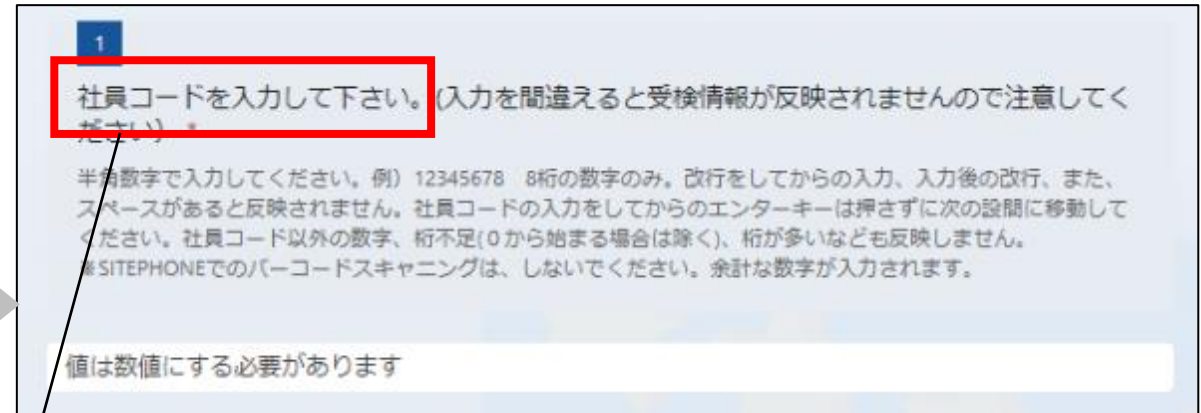
使用するスマホ型端末



スマホ型携帯端末を使用した「KYT活動」



運用方法



社員コードを入力することで、一人ひとりの実施状況が確認できる

スマホ型携帯端末を使用した「KYT活動」

6

◆メンバーが床材の切り売り対応をしています。この後、どんな事故が発生するでしょうか。1つ選択してください。
* (5点)



切り売りの台に膝をぶつける

カッターで指を切る

目の前の棚が崩れる

切り売りの台に膝をぶつける

カッターで指を切る

目の前の棚が崩れる

ポイント

- 選択式
- 正解を選択しないと再チャレンジする設計
- 作業時間目安：5分程度

7

【前のイラストの続き】カッターで自分の指を切ってしまいました。その**最も大きな原因**を選択してください。* (5点)



皮手袋を着用していなかった

カッターの刃が長かった

カッターで切る直線の上に指を置いていた

皮手袋を着用していなかった

カッターの刃が長かった

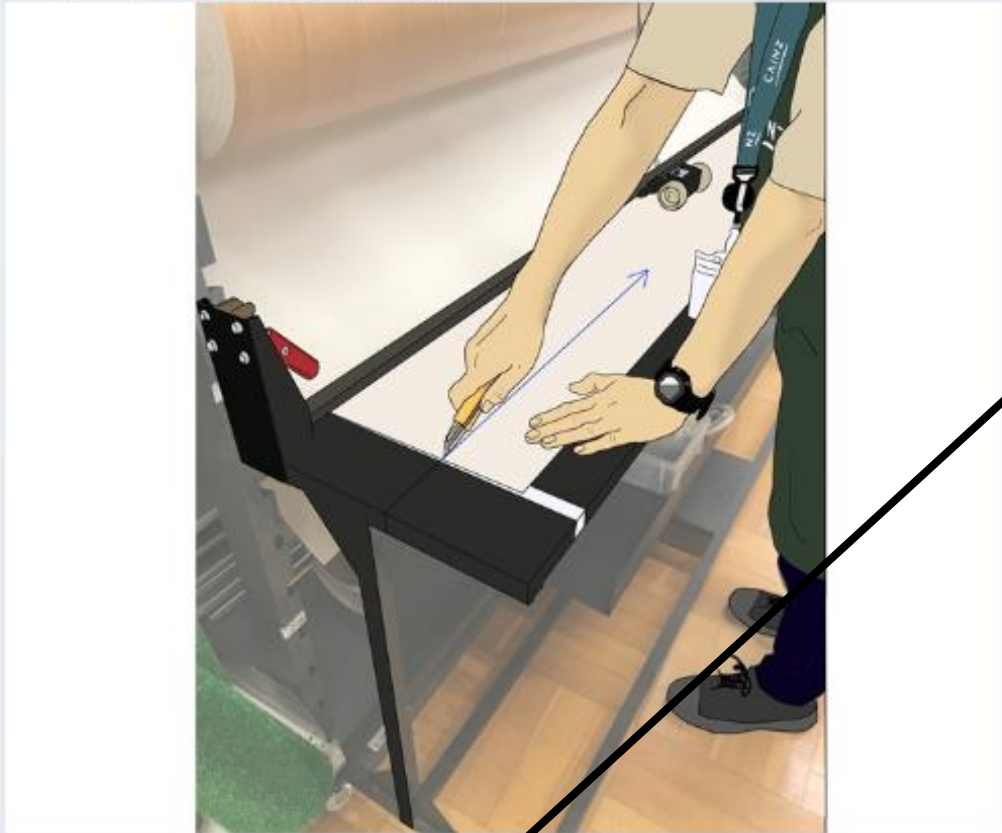
カッターで切る直線の上に指を置いていた

ポイント

- 前問からつながっている設問設定
- 原因を選択することで、行動リスクの理解へつなげる

8

この事故の例から、カッターで指を切る事故を防ぐ為に**心掛けること**で適切な物を選択肢から**1つ選択**してください。* (5点)



- カッターで切る直線の上に指を置かない
- 切れ味の悪いカッターを使用する
- カッターを使用する際は皮手袋を着用する

- カッターで切る直線の上に指を置かない
- 切れ味の悪いカッターを使用する
- カッターを使用する際は皮手袋を着用する

ポイント

- 1問目：どんな事故が発生するか？
- 2問目：最も大きな原因を考える
- 3問目：注意する点（心掛けること）

※3問1セットで出題し、「発生予測」
⇒「原因」⇒「注意点」を考えるストーリーで設計

実際にカインズのKYT活動をやってみよう！

危険を予知する能力を養い、事故を未然に防ぐ

CAINZ

9月度 KYT活動

◆KYT(危険予知トレーニング)活動QRコード ここを読み取って**100点になるまで**実施

※実施手順は掲示板にある別紙を確認



KYT QRコード
(全メンバー共通)



KYT問題内容応募
QRコード
必須ではありません

※**全メンバー**が**実施**してください。⇒本部で実施状況を確認します。

期日：9月30日まで

9月度KYT(危険予知トレーニング)活動

2024年9月10日

イラストを見て、想定される危険を考えて下さい。

今すぐ開始





2022年度 SAFEアワード ブロック賞 受賞

**カインズオリジナル
一段踏み台/二段踏み台の開発**

転倒事故を削減！「一段踏み台、二段踏み台」の導入

【目的】

・転倒災害を削減するべく、より安全性の高い「一段踏み台」と「二段踏み台」を開発し、店舗へ導入

【ポイント】

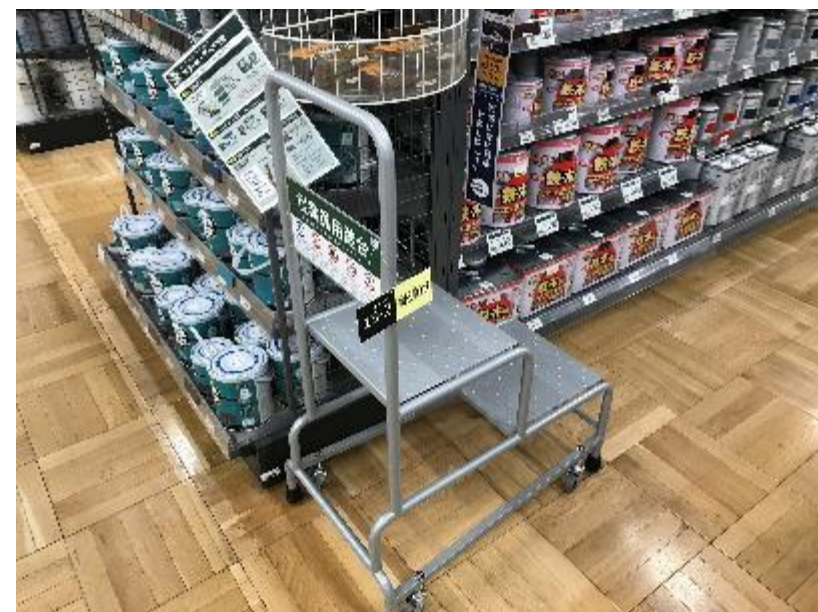
2022年度 SAFEアワードブロック賞 受賞

- ・カインズ独自の開発踏み台
- ・踏み面を広くしたことで安定感アップ
- ・持ち手を取り付けたことで、より安全に昇降が可能
- ・アルミ製のため、女性でも簡単に持ち運びが可能
- ・踏み台の乗ると自重で沈み込み、脚が床面にしっかりと設置し、安全性が向上

【一段踏み台】



【二段踏み台】



事故共有動画

事故共有を紙ベースからイラスト動画へ！事故共有動画！



【背景】

- ・朝礼、昼礼等で事例共有をしているものの、アルバイトメンバーまで伝わりにくい環境
- ・事故共有方法が紙ベースの資料で実施していたため、アルバイトメンバーまで浸透しづらい環境
- ・資料の掲示のため、一人ひとりの理解度、認識に格差が発生

【内容】

- ・過去の事故事例や直近の事故事例をイラストを活用し、動く動画を毎月作成
- ・アルバイトメンバーまでの実施率が高い「KYT活動」と連動させる

【目的】

- ・**事故発生後の共有方法を動画（動くイラスト、実際の映像等）に変更**することで、**視覚的なインパクトを与え**、文章よりも**記憶に残りやすく**することで、安全最優先な行動へつなげる

【対象人数】

全店舗（25,200人）

【定量的効果】

【1コンテンツ平均視聴人数】
・約18,000～21,000人



2023年7月 事故共有動画

～実際に発生した事故の再現映像となります～

3ヶ月無事故運動

事故「ゼロ」を目指そう！「3ヶ月無事故運動」



【目的】

- ・ 全社をあげての安全に対する意識の向上

【対象期間】

- ・ 10月1日～12月31日 の3ヶ月間

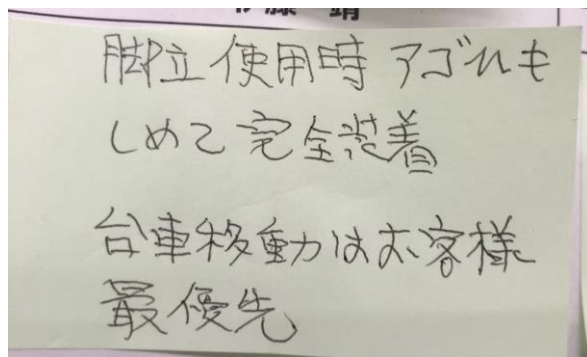
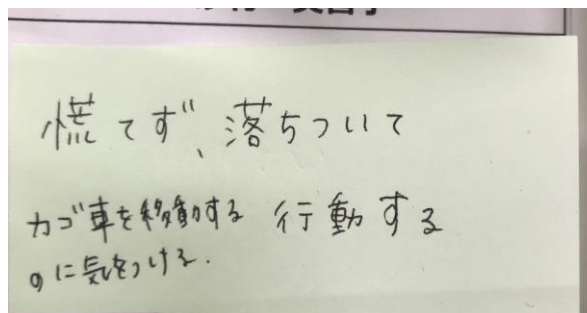
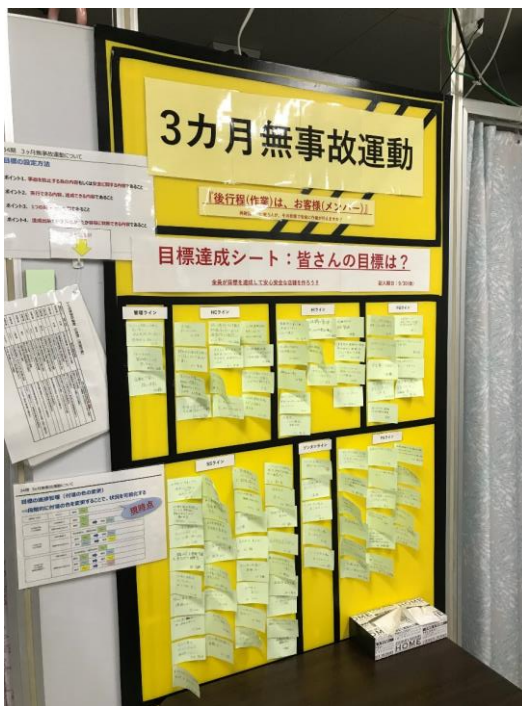
【内容】

- ・ **全メンバーが安全に作業するための個人目標を設定し、毎月振り返りを行うことで安全意識を醸成につなげ、可視化する**

媒体【ポスター】



個人目標設定



【対象人数】

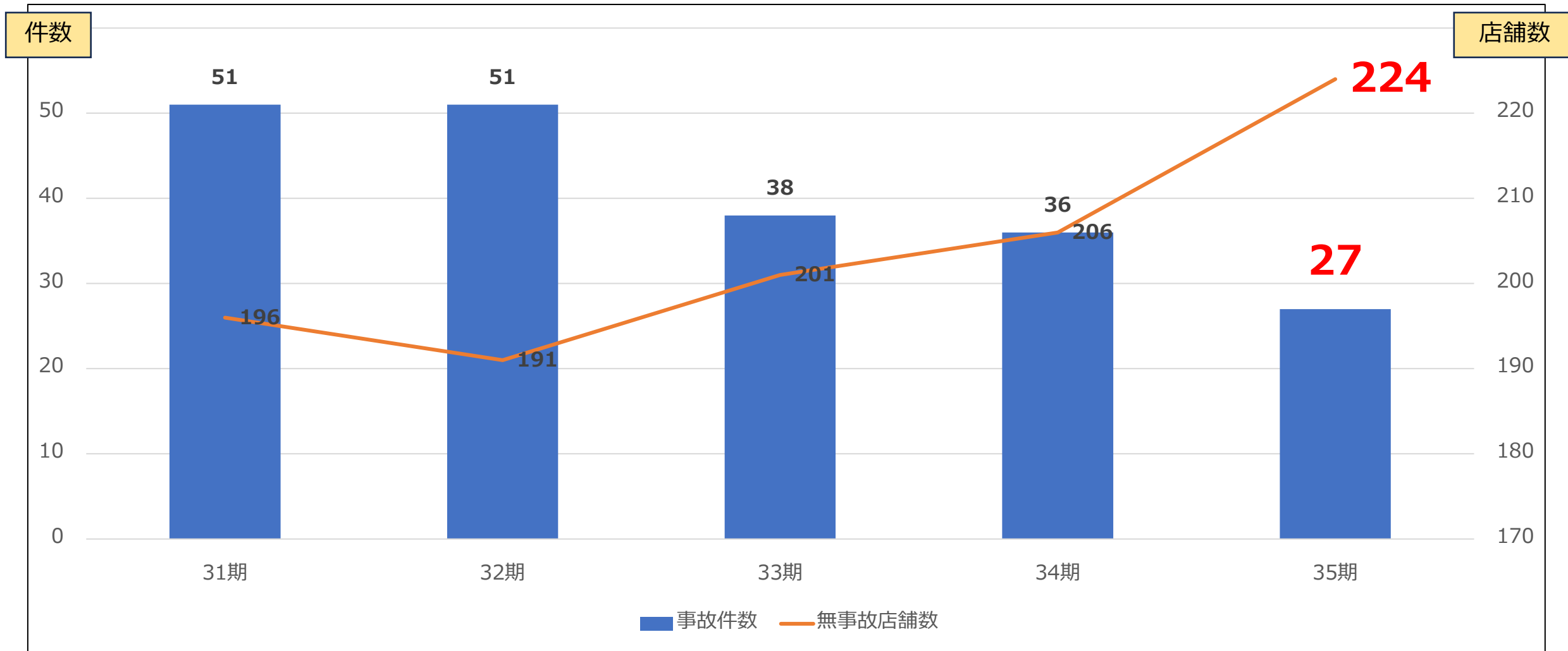
全店舗 (25,000人)

【定量的効果】

2023年10月～12月事故件数：27件
2022年10月～12月事故件数：36件
2021年10月～12月事故件数：38件
2020年10月～12月事故件数：51件
2019年10月～12月事故件数：51件

35期_第5回 3ヶ月無事故運動結果報告

- ・対象店舗数は249店舗と最大となったが、無事故達成店舗数は224店舗と過去最高の店舗数が達成
- ・店舗数は増加し続けているが、事故件数は最少の27件で終了（C'zPROや別館も1店舗としてカウント）



3 S活動（整理・整頓・清掃）

3S活動

意図/目的

- ・メンバーの安全・安心な働く環境整備⇒お客様が安心して買い物できる環境づくり
- ・3Sを中心とした作業効率の向上による生産性改善
- ・あるべきシートによる生産性の高い労働環境の改善と定着

作業導線の明確化と導線確保



あるべきシート

『 長台車 置き場 』のあるべき姿

〇〇〇店

●あるべき姿 (After)



●あるべき姿「3定ルール」

場所の明確化

①定置 保管範囲を明確にする(ラインを引く)
場所: 事務所前
置くものを明確化

②定物 長台車本体とハンドルのみ

保管する量を明確化

③定量 長台車の保管台数を明記

保管台数 20 台

④ Before・Afterで良い状態を明確に

●昔の姿 (Before)



【注意事項】

- ・バックヤードの主導線を遮るような保管方法は禁止
- ・誰が見てもわかるように備品の画像・名称・保管台数は指定場所に明記
- ※この「あるべき姿」は上記写真現場へ掲示してください。

責任者	店長

30期より「3S活動」がスタート。現在は四半期に一度、本部巡回者による「3S定着チェック」を実施しながら、3S意識の定着をはかる

